

玉北小だより



小美玉市立玉里北小学校
学校通信 No.26
平成31年2月5日

♡♡♡ 小学校教育が変わります！ ♡♡♡

新しく道徳の教科化が始まり、通知表などを通して道徳的な実践意欲や態度の高まりについてご家庭にお知らせしたり、授業参観等で道徳の授業を公開したりしてきました。予測不能な社会の変化に主体的に対応できるように、教育界は今大きく変わろうとしています。その一端をお知らせします。

【外国語活動の充実】

子どもたちが将来どのような職業に就くとしても求められる、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力の育成が求められています。

◆そこで、来年度から、外国語活動（英語科）を5・6年生では週2時間、3・4年生では週1時間実施するようになります。

◆それに伴い、授業時数が増加します。そのため、現在、教務主任が中心となって時間割の見直しを行っています。

◆本校だけで時間割を変更するのではなく、統合を見据えて、玉里地区の他の小学校とも同じ歩調で取り組んでいこうと考えています。

◆具体的には、授業が1時間分増えることになります。現在、月曜日を除いてほぼ6時間授業となっていますが、さらに1時間をどこに組み込んでいくのかを考えています。下校時刻も変わってきますので、決まり次第、保護者の皆様にお知らせします。



【プログラミング教育】

コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるように、プログラミング教育が導入されます。

◆コンピュータにプログラミングするには、曖昧さを省いて明確に指示する必要があります。小学校では、その基礎的な能力として物事に対して筋道を立てて論理的に考えていく生活・学習態度の育成が大切だと考えています。

◆まずは、文字入力やデータ保存・活用などに関する技能の確実な習得が求められます。プログラミング教育に関する特別な教科は作らず、各教科を通して、コンピュータを取り入れた学習を進展させていくことになります。

ちょっとひとこと

【AI（人工知能）時代に思うこと】

・・・コンピュータの重要性が注目されていますが・・・

AIの飛躍的な進化に対して、「人間が活躍できる職業はなくなるのではないか」「今学校で教えていることは時代が変化したら通用しないのではないか」という不安や疑問の声が聞かれます。確かに、AIの進化の特徴は、AI自体が概念を打ち立てて、情報やデータを構造的に記憶し、思考していくものです。この点から見れば、将来、子どもたちの働き方は間違いなく変わっていきます。なくなる仕事として真っ先に挙げられているのが、ホワイトカラー系の公務員だとも言われています。

◆例えば、国会答弁を書くような、過去の膨大なデータを蓄積し分析する仕事は、AIが最も得意とする分野です。一方で、対話の中でアイデアを出し合って、正解というよりも、だれもが納得する解を生み出したりする行政官のような、人間の強みを活かす仕事は残るはずですよ。

◆例えば、「いい国（1192年）作ろう鎌倉幕府」のように年号と歴史的な事象を暗記する作業は、AIの得意分野です。しかし、鎌倉に武家政権が誕生した理由を歴史的な因果関係の中でとらえ、日本人としての本質を探ろうとすることこそ、我が国が進めてきた学校教育の強みです。自信をもって、このよさを次の世代に引き継いでいきたいと思います。

◆今回は、少し理屈っぽい話をしてしまいましたが、畢竟するところ、教育の変革期にあって最も大切にしたいのは、季節の移り変わりを敏感に感じ取ったり、友達と喜びや悲しみを共有する中で相手の気持ちを慮ったりするという人間的なふれ合いだと考えています。♡♡♡玉里北小は、引き続き、子どもたちの主体的な活動を充実させていきます。